**妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援の充実を図る**

**個別目標**

**１**

**安心して妊娠・出産ができるように支援する**

目標値

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 基準値  2017年度  （平成29年度） | 目標値  2022年度 |
| 妊産婦死亡率（出産10万対）  【図表１参照】 | ０（\*１） | ０（\*３） |
| 妊娠・出産について満足している市民の割合 | 80.1％（\*２）  【表２参照】 | 85.0％（\*４） |

（\*１）2015（平成27）年「衛生統計年報」　（\*２）2016（平成28）年度すこやか親子21指標に関する調査（乳児健診）

（\*３）死亡率ゼロを目標　　（\*４）国と同じ目標値

図表１

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　資料：衛生統計年報

表２　妊娠・出産について満足している者の割合（％）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ｈ28 | Ｈ29 | H30 |
| 市 | 80.1 | （※１）　83.1 | （※１）85.4 |
| 県 | 84.0 | （※２）　84.9 |  |
| 国 |  | （※3）　82.8 |  |

（※１）　すこやか親子21指標に関する調査（乳児健診）霧島市集計

（※２）　すこやか親子21指標に関する調査（乳児健診）鹿児島県集計

（※３）　厚生労働省「「健やか親子21（第2次）」の中間評価等に関する検討会」資料

**個別目標１の取組**

●リスクを抱える妊産婦を支援するために支援プランを作成し、切れ目のない支援を行います。

●子育て世代包括支援センターの機能を強化するために、専任の母子保健コーディネーターを

配置します。

●産後うつや、育児不安等の支援をするために、医療機関等の関係機関と連携をとり、妊産婦を支える体制を強化します。

**【平成30年度の現状】**

・妊娠届出、妊婦健診結果、出生情報等から、支援が必要と思われる対象を階層化し、個別に支援プランを作成した。

・平成30年度から、関係機関との連携を図り支援管理をする専任の母子保健コーディネーターの保健師を、子育て世代包括支援センター（すこやか保健センター）に2名配置し体制強化を図った。

・姶良地区内の産科医療機関助産師や、新生児訪問助産師などの関係者を集めて、情報交換を行うために、霧島市母子保健関係者連絡会を開催した。（平成30年度は2回）

**【令和元年度の取組】**

・産後うつや新生児虐待等を早期把握・早期支援するために、今年度から産婦健診の費用助成事業を開始し、更なる産後支援の強化を図る。

・産婦健診の結果、精神科受診等が必要な産婦がいることから、産科医療機関だけではなく精神科医療機関との連携を強化していく。